

環境の良い職場で育まれる人を幸せにするおもてなしの心!

「アカデミー・オブ・ホスピタリティ」を宣言——。「人を幸せにする魔法を学ぼう!」という言葉が印象的な学校法人。「学園で働く人が幸せであってはじめて、他の人を幸せにできる」がモットー。女性管理職、人事担当者、若い教職員の方々に、お話を伺いました。

気がつけば働きやすい職場 仕事に打ち込める環境がある

教職員や専門スタッフにはスキルのある人材を採用しているからこそ、結婚や出産後も働く充実した制度と環境が必要です。プロ意識が高い女性管理職の辻さんに、「2年前、ホテル学科のコースを独立させた『プライダル学科』のスタートに携わり、カリキュラムなどを創りました。学校を動かすといえばおおがましいですが、学生たちが卒業後、社会に出て即戦力として活躍できるようにとの思いで、苦労しながら創り上げたことを思い出します。産休と育児休業を経て復帰し、3年ほど経つ頃です。今考えてみると、そんな機会を与えていただけたことや、家庭生活を大切にできる環境だったので頑張れたと感謝しています」。辻さんは、卒業生が活躍し、学校に報告がて遊びに来てくれるところや、気持ちが通じ合える学生や多くの人たちとの出会いがあることが、この仕事の

醍醐味だとおっしゃいます。そして「年齢を重ねても輝いていられる」「そんな、働く女性の理想像になれれば」と、これからも仕事を打ち込み、楽しい家庭を築きたいと語られました。

人づくりに携わる責任と誇りを持ったかけがえのない教職員だから、人事担当の大條さんは「出産育児は家庭を持つ方にとて大切なこと。」本人に

今後も働きたいという意欲があれば、職場復帰をして欲しいので、しっかりと引き継ぎをして、休業中は派遣職員やアルバイト職員の方でカバーし、休業を取得しやすい環境を整えています。また、子どもが3歳になるとまずは短時間勤務もできます。月に4日以上かつ23時間以上勤務といれば短時間勤務が可能と、利用やすい設定になっています。また、育児支援手当も0歳から支給。とくに私たち、人づくりに携わる責任ある仕事をしているので、できるだけ長く仕事を続けていたくために、教職員を大切にした制度だと思います」。

現在、育児休業を取得中の藤田さんは、「ハイブリッドのシステム導入や運営管理などをを行うシステムアドミニストレーターの仕事をしています。結婚や出産のタイミングで会社を辞めるという選択肢は、思い浮かばなかったです。同じ年に産休を取得する人が他に3人もいましたが、いつ職場に復帰するの?としか聞かれませんで



こんなことに取り組んでいます

女性の積極的な登用に向けた取組

- ・役職者や資格管理者への女性の積極的な登用、女性の積極的採用

男女がともに働きやすい職場づくり

- ・平成15年より「ハラスメント・ポリシー」を施行、ハラスメントの定義と事例を明文化するとともに、ハラスメント防止委員会を設置、委員は防止の啓発や苦情・相談の窓口を担当。

仕事と家庭生活の両立支援

- ・育児・介護休業制度の整備
- ・平成20年2月から出産・育児のための短時間勤務制度を非常勤教職員にも導入
- ・定時退勤を促す、「5時ピタ」運動を推進
- ・有給休暇の取得を促進するため、年間取扱目標を設定し、月毎の勤務シフトに反映
- ・育児支援手当制度の導入

学校法人 大和学園

京都栄養医療専門学校
京都調理師専門学校
京都製菓技術専門学校
キャリエールホテル旅行専門学校
ラ・キリエール クッキングスクール

- 創業: 1931年(昭和6年)2月
- 基本金: 98億3600万円
- 従業員数: 174名
- 代表者: 理事長 田中幸雄
- 事務局: T604-8006
京都市中京区河原町三条上ル
- URL: <http://www.taiwa.ac.jp/>



理事長
田中幸雄さん
人づくりに携わる教職員が
幸せを感じる職場づくり

ホスピタリティ・産業界をリードする、おもなれの心と奉仕の精神溢れる人づくりを行なためには、教職員一人ひとりに、学園で働くことを幸せと感じてもらうことが大切です。今後も、「アカデミー・オブ・ホスピタリティ」を目指して、快速で明るく、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



ワントゥ・ワンのOJT指導など
教職員を幸せにする様々な制度

ハラスメントを未然に防止することを目指したハラスメントポリシーを施行。またヨークなのが「5時ピタ」運動。残業が前提で、特定の日だけ止めてしまうという「残業バー」とは違い、5時になつたら帰りますよ」と、部下が帰りやすい環境を上司が創っています。そして、教職員のOJTにおいてはワントゥ・ワン指導を取り入れ、何でも聞きやすい職場づくりも実現。就職活動中に採用説明会で、人間関係の良さが伝わる笑顔の絶えない環境を感じ、入職を希望した仲田さんが先輩として指導。新人の長内さんは、「わからぬことや悩みは何んでも相談できるから、仕事を打ち込める」と話されました。学校の魅力を入学希望者や高校の先生方へ伝える業務にあたるお一人。お聞きすると、教職員全員が顔見知りといえるほど、気軽に話せる雰囲気があり、人間関係が良好。どんな難しいことにも、前向きに挑む姿勢で仕事ができる環境は、とても幸せだと感じられます。そして、そんな学校だからこそ、人を幸せにする職業人が育成できると、目を輝かせてくださいました。